

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部

Mail Magazine 【建築研究本部かわらばん】 VOL.131 2020/6/30

このメールマガジンは、北海道立総合研究機構（道総研：どうそうけん）建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

-----  
今月号のトピックス  
-----

■「北総研防火木外壁（PF仕様）」が、建築基準法における防火構造の大臣認定を取得し、実用化されました。

■研究紹介

「道産資材を用いた木造高断熱外壁の防耐火構造の開発」

「積雪寒冷地域におけるアスファルトシングル葺屋根の適用性に関する研究」

■お知らせ

ホームページの更新情報

-----  
■「北総研防火木外壁（PF仕様）」が、建築基準法における防火構造の大臣認定を取得し、実用化されました。  
-----

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）建築研究本部 北方建築総合研究所では、外装材に木材、付加断熱材にフェノールフォーム断熱材（PF）を用いた「北総研防火木外壁（PF仕様）」を開発し、フェノールフォーム協会（申請者：旭化成建材株式会社）において、建築基準法に定められる「防火構造」の国土交通大臣の認定を取得しました。この「北総研防火木外壁（PF仕様）」は、道総研重点研究「道産資材を用いた木造高断熱外壁の防耐火構造の開発」（平成29年度～令和元年度）の研究成果の一部を、旭化成建材株式会社に技術移転したものです。

「北総研防火木外壁（PF仕様）」は、建築事業者に自由にお使いいただけます。

また、下記に研究担当者からの研究紹介がありますので、合わせてご覧ください。

▼プレスリリースはこちら

[http://www.hro.or.jp/info\\_headquarters/domin/pdf/20200601\\_pressrelease.pdf](http://www.hro.or.jp/info_headquarters/domin/pdf/20200601_pressrelease.pdf)

▼取材等のお問い合わせは下記連絡先にお問い合わせください。  
連絡先：nrb■hro.or.jp（■を@に変更してください。）  
担当者：企画調整部企画課

-----  
■研究紹介

□特集する研究に対する研究者の思いを紹介します。

□今月号の特集の1つ目はこちらです。

「道産資材を用いた木造高断熱外壁の防耐火構造の開発」  
（平成29～令和元年度 重点研究）  
建築システムグループ 糸毛

-----  
私は、これまで「断熱と防火」をテーマに研究に取り組んできたなかで、高い断熱性を上手に生かせば、高い防火性を実現できることに思い当たりました。特に高断熱仕様がすでに普及している北海道では、今、施工している一般的な工法・コストで、簡単に実現できると考えました。むしろ最大の苦心点は、大臣認定を使っていただく方に、不自由なイメージを与えないこと。そのため、大臣認定の仕様範囲について、外装材や断熱材など構成部材ごとに、可能な限り広く確保できるように努めました。

本研究の成果のうち、付加断熱材にフェノールフォーム（PF）を用いた防火構造外壁は大臣認定を取得し、6月1日に「北総研防火木外壁（PF仕様）」としてプレスリリースを行いました。専門紙等に取り上げられ、一般的な高断熱仕様の外壁で防火規制に適合しつつ、外装材に木材を使える点で大きな反響をいただいております。

これに続き、付加断熱材にポリスチレンフォームやグラスウール（ロックウール）を用いた防火構造外壁についても大臣認定を申請しており、取得でき次第、発表してまいります。ご期待ください。

一方、これら大臣認定は木造軸組工法に限られるため、枠組壁工法の大匠認定もという声を多くいただきました。枠組壁工法の大匠認定取得については、今後、技術移転先と相談しながら検討してまいります。

▼研究報告書はこちらです（4.1MB）。

[http://www.hro.or.jp/list/building/result\\_pdf/R01h/404.pdf](http://www.hro.or.jp/list/building/result_pdf/R01h/404.pdf)

▼研究紹介資料はこちらです（290KB）。

[http://www.hro.or.jp/list/building/pdf/R01gaiyo/R1\\_poster03.pdf](http://www.hro.or.jp/list/building/pdf/R01gaiyo/R1_poster03.pdf)

-----  
■研究紹介

□特集する研究に対する研究者の思いを紹介します。

□今月号の特集の2つ目はこちらです。

「積雪寒冷地域におけるアスファルトシングル葺屋根の適用性に関する研究」  
（平成23～25年度 一般共同研究）  
企画課 高倉

アスファルトシングルを積雪寒冷地で採用するにあたっての不安要素には、屋根表面の石粒が剥がれ落ちない耐久性は？。どのような屋根勾配、温度条件になると落雪してしまうのか？、などがあります。本研究は、積雪寒冷地においてアスファルトシングルが屋根葺材として使用できるのかを検討したものです。研究終了後、共同研究先は、設計施工マニュアルと保証要件を取りまとめ、道内で販売を開始しています。

研究報告書は、既存の規格試験がないなか、手探りで模索した実験・試験方法を記載しております。建築物の積雪寒冷地向けの新しい屋根葺材の開発のほか、同種の屋根葺材を採用したい建築設計者、ユーザーの皆様の疑問にお答えできる基礎資料になっていると思います。積雪寒冷地域で戸建・共同問わず住宅を建設しようとする場合にご活用ください。

▼研究報告書をご覧になりたい方は、当研究所までお問合せください。

▼研究紹介資料はこちらです（450KB）。

<http://www.hro.or.jp/list/building/pdf/25nenpou/34.pdf>

-----  
■お知らせ

ホームページの更新情報  
-----

■2020年6月01日更新

「北総研防火木外壁（P F仕様）」が、建築基準法における防火構造の大臣認定を取得し、実用化されました。※法人本部ページへのリンク

[http://www.hro.or.jp/info\\_headquarters/domin/pdf/20200601\\_pressrelease.pdf](http://www.hro.or.jp/info_headquarters/domin/pdf/20200601_pressrelease.pdf)

■2020年5月29日更新

メールマガジン「建築研究本部かわらばん」（vol.130）を配信しました。

<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/newsletter/index.html>

=====  
管理者からのお知らせ  
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_n](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n)

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_q](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q)

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

---

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部  
<http://www.hro.or.jp/list/building/>